

SDS 320 製品名 ロイヤル

安全データシート(SDS)

1.化学品及び会社情報

化学品等の名称	薄板普通鋼(塗装溶融亜鉛めっき鋼板、塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板)
製品コード	-
供給者の会社名	ビルトマテリアル株式会社
住所	東京都目黒区駒場3-12-41
電話番号	03-3460-3111
ファックス番号	03-3460-3110
電子メールアドレス	-
緊急連絡電話番号	-
推奨用途	-
仕様上の制限	-

本製品の組成及び成分情報、危険有害性情報、応急処置に関する情報、取扱い上の注意事項等については、次頁以降の安全データシート(SDS)に記載された内容をご参照ください。

本SDSは、国内法等の要求から、作成および改訂時において入手可能な最新情報をもとに製造元が作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅したものではありません。

新たな情報を入手した場合は、記載内容を改訂します。また、記載のデータや危険有害性等の情報は、いかなる保証をなすものではありません。

当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用するときは、取扱事業者において安全性を確認してください。

安全データシート(SDS)

初版 : 2015年 6月 17日

第5版 : 2019年 4月 1日

1 製品及び会社情報

- ◇製品の名称 : 薄板普通鋼(塗装溶融亜鉛めっき鋼板、塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板)
- ◇会社名 : 株式会社 メタル建材
- ◇住所 : 千葉県船橋市西浦1-1-1
- ◇担当部門 : 営業部
- ◇電話番号 : 047-433-9651
- ◇FAX.番号 : 047-433-9665
- ◇緊急連絡先 : 同上

2 危険有害性の要約

鋼材としては、一般的な環境下では、現在のところ危険有害性に関する有用な情報なし。
ただし、溶接、溶断等にもなうヒュームや研削等による微粉は呼吸器、眼他の粘膜を刺激する場合があります、
アークは火傷を起こす場合があります。また、切削屑等は皮膚を傷つける場合があります。
なお、鋼材に含まれる元素成分については、下記の危険有害性の情報がある。

◇GHS分類:

<健康に対する有害性>

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分3	軽度の皮膚刺激(H316)
眼に対する重篤な 損傷性又は眼刺激性	区分2B	眼への刺激性(H320)
呼吸器感作性	区分1	吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ(H334)
皮膚感作性	区分1	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317)
生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い(H341)
発がん性	区分2	発がん性のおそれの疑い(H351)
生殖毒性	区分1 (1A及び1B)	生殖能または胎児への悪影響のおそれ(H360)
	区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い(H361)
特定標的臓器毒性・全身毒性 (単回ばく露)	区分1	呼吸器、腎臓の障害(H370)
	区分2	(全身毒性)臓器の障害のおそれ(H371)
	区分3	(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ(H335)
特定標的臓器毒性・全身毒性 (反復ばく露)	区分1	長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、神経系の障害(H372)

<環境に対する有害性>

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
水生環境有害性(慢性)	区分4	長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ(H413)

◇GHSラベル要素:

<絵表示又はシンボル>



<注意喚起語>

危険、警告

<注意書き>

(安全対策)

- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと(P202)
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと(P260)
- ・取扱い後は手をよく洗うこと(P264)
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと(P270)
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること(P271)
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと(P272)
- ・環境への放出を避けること(P273)
- ・保護手袋を着用すること(P280)
- ・換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること(P284)

(応急処置)

- ・皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと(P302+P352)
- ・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること(P310+P340)
- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること(P305+P351+P338)
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること(P308+P313)
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること(P312)
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診療/手当てを受けること(P333+P313)
- ・眼の刺激が続く場合:医師の診療/手当てを受けること(P337+P313)
- ・呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること(P342+P313)
- ・汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること(P362+P364)

(廃棄)

- ・内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること(P501)

3 組成及び成分情報

◇化学物質/混合物の区別 : 混合物(鉄を主成分とした合金鋼)

◇主な成分

成分	含有量[wt%]	CAS 番号	化管法*1 政令番号	安衛法*2 政令番号
アルミニウム [Al]	0~10 未満	7429-90-5	-	37
マンガン [Mn]	0~10 未満	7439-96-5	1種 412	550
モリブデン [Mo]	0~10 未満	7440-50-8	1種 453	603
クロム [Cr]	0~10 未満	7440-47-3	1種 87	142
銅 [Cu]	0~10 未満	7440-50-8	-	379
コバルト [Co]	0~1	7440-48-4	1種 132	172
クロム酸ストロンチウム [SrCrO4]	0~1	7789-06-2	1種 88	142
酸化チタン(IV) [TiO2]	0~5	13463-67-7	1種 558	191
鉄 [Fe]	残量	7439-89-6	-	-

*1 化学物質排出把握管理促進法(1%以上含有、特定1種は0.1%)

*2 労働安全衛生法(物質によって閾値は異なる)

注 1) 上記の主要な成分の他に、炭素[C]、リン[P]、硫黄[S]、窒素[N]等の微量元素を含む。また、上記以外の金属元素及び酸化物等も含有の可能性がある。それらの元素は、検査証明書に記載がなく、0.1%以上含まれる場合がある。

4 応急措置

鋼材は通常状態で固体であり、一般的な環境下では応急処置が必要な事態は発生しないが、鋼材の加工等により発生した粉塵/ヒュームを吸引した場合や飲み込んだ場合、また、粉塵/ヒュームが皮膚に付着した場合は、下記に示す応急措置の後、必要に応じて医師の診断又は手当てを受けること。

- ◇吸引した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- ◇皮膚に付着した場合 : 速やかに多量の水と石鹼で洗う。
- ◇眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
- ◇飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。
- ◇その他 : 鋼材切断端面及び切削屑等で皮膚を傷つけた場合は、傷口の清潔を保つ。アーク等により火傷した場合は、患部を冷やす。

5 火災時の措置

鋼材は不燃性(固体)の状態であり、周辺の火災時にも消火器・水による消火を行って問題ない。ただし、微粉は燃焼、爆発性を有する場合がある。

- ◇消火剤 : 火災の状況に適した消火剤を使用する。
- ◇使ってはならない消火剤 : 情報なし

6 漏出時の措置

鋼材は固体であり、一般的な環境下では漏出することはないが、鋼材の加工等により発生した粉塵/ヒュームは下記に示す措置を実施すること。

- ◇人体に対する注意事項 : 適切な保護具を使用して、粉塵/ヒュームの吸引や眼への侵入を防ぐこと。
- ◇保護具及び緊急時措置 : 箇条8(ばく露防止及び保護措置)の保護具を参照のこと。
- ◇環境に対する注意事項 : 切断・研磨等の加工で発生した粉塵等は、速やかに回収する。
- ◇封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 鋼材の加工により発生した粉塵類は、適切な方法で回収した後、漏出を防止すること。

7 取り扱い及び保管上の注意

- ◇取り扱い:
 - <技術的対策>
 - 鋼材を溶接、溶断又は研磨等の加工を行い、粉塵/ヒューム等が発生する場合は、適切な保護具を着用すること。
 - また、粉塵/ヒューム等が発生する場合は、必要な局所排気/全体換気を行うこと。
 - <安全取り扱い注意事項>
 - 重量物の為、転倒、荷崩れ、落下に注意する。
 - 鋼材の切断端面及び切削屑等は、「バリ」「カエリ」などにより皮膚を傷つける場合がある。
 - 溶接、溶断等にもなうアークは火傷を起こす場合がある。
 - 結束及び梱包フープ(バンド)の切断時に、フープの跳ね返りやフープ先端に注意を要する。特にコイル製品の場合には、コイル先端が跳ね上がる可能性があるため安全には充分な留意を要する。
- ◇保管:
 - <安全な保管条件>
 - 水漏れ、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避けること。
 - 高温多湿の環境を避ける。必要であれば、雨水浸透防止、錆防止のためのシート、カバー、梱包等を行うこと。

8 ばく露防止及び保護措置

鋼材は通常の状態では固体であるため、一般的な環境下では、ばく露防止及び保護措置に関する有用な情報はない。ただし、溶接・溶断又は研磨・切削等の加工の際は、ヒュームや粉塵類が発生するので、下記に示す設備対策及び保護措置を実施すること。

◇許容濃度 :

成分	CAS 番号	日本産業衛生学会	ACGIH *1
		許容濃度 [mg/m ³]	TLVs・TWA [mg/m ³]
アルミニウム [Al]	7429-90-5	2	5*4 / 10 *3
マンガン [Mn]	7439-96-5	0.2	0.2
モリブデン [Mo]	7439-98-7	-	10 (I) / 3(R) *2
クロム [Cr]	7440-47-3	0.5	0.5
銅 [Cu]	7440-50-8	-	1 *3 / 0.2 *4
コバルト [Co]	7440-48-4	0.05	0.02
クロム酸ストロンチウム [SrCrO4]	7789-06-2	0.5	0.5
酸化チタン(IV) [TiO2]	13463-67-7	-	10
鉄 [Fe]	7439-89-6	-	-

注1) NITE HP/化学物質総合情報提供システム(CHRIP)検索結果

注2) 表中の“-”は、区分外または分類できないことを意味する。

*1 American Conference of Governmental Industrial Hygienists ;米国産業衛生専門家会議

*2 (I):Inhalable fraction (R):Respirable fraction

*3 Dust and mists, as Cu *4 Dust , as Al

*4 Fume

◇設備対策 :粉塵/ヒューム等が発生する場合、適切な換気対策を実施し、作業環境を確保すること。

◇保護具 :粉塵/ヒューム等が発生する場合、適切な呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣、安全靴等を着用すること。

9 物理的及び化学的性質

◇物理的状態、形状、色など :銀白色の固体

◇臭い :金属臭

◇融点 :1370℃以上

◇比重(相対密度) :7~9g/cm³

◇溶解度 :水に不溶

10 安定性及び反応性

◇安定性 :一般の環境下では、安定している。

◇危険有害反応可能性 :水や酸等の化学物質と接触すると、酸欠、有害なガス発生の原因となる可能性がある。

◇避けるべき条件 :高湿、混触危険物質との接触を避ける。

◇混触危険物質 :酸化性物質等。

◇危険有害性のある分解生成物 :溶接・溶断などの加工時に発生するヒューム中に金属化合物が含まれる可能性がある。

11 有害性情報

有害性項目	[Al]粉状	[Mn]	[Mo]	[Cr]	[Cu]	[Co]	[SrCrO4]	[TiO2]
急性毒性	-	-	-	-	-	-	区分4	-
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	-	区分3	-	-	-	-	-	-
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	-	区分2B	-	区分2B	-	-	区分1	区分2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	-	-	-	区分1	-	区分1	区分1	-
生殖細胞変異原性	-	-	-	区分2	-	-	-	-
発がん性	-	-	-	-	-	区分2	区分1A	区分2
生殖毒性	-	区分1B	-	-	-	区分2	-	-
特定標的臓器毒性・全身毒性 (単回ばく露)	-	区分1	区分3	区分2、 3	区分3	区分3	-	-
特定標的臓器毒性・全身毒性 (反復ばく露)	区分2、3	区分1	-	-	区分1	区分1	-	-
吸引性呼吸器有害性	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 注1) NITE HP/化学物質関連情報/GHS 関連情報検索結果

※ 注2) 表中の“-”は、区分外または分類できないことを意味する。

※ 注3) 区分の情報は、箇条2(危険有害性の要約)を参照のこと。

12 環境影響情報

有害性項目	[Al]	[Mn]	[Mo]	[Cr]	[Cu]	[Co]	[SrCrO4]	[TiO2]
水生環境有害性(急性)	-	-	-	-	-	-	-	-
水生環境有害性(慢性)	区分4	区分4	-	-	区分4	区分4	-	-

※ 注1) NITE HP/化学物質関連情報/GHS 関連情報検索結果

※ 注2) 表中の“-”は、区分外または分類できないことを意味する。

※ 注3) 区分の情報は、箇条2(危険有害性の要約)を参照のこと。

13 廃棄上の注意

◇ 残余廃棄物:

産業廃棄物に関する法律、都道府県または市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。

◇ 汚染容器及び梱包:

容器及び梱包に汚染物質が付着している場合、残余廃棄物と同様に、産業廃棄物に関する法律、都道府県または市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。

14 輸送上の注意

輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

15 適用法令

- ◇労働安全衛生法 第 57 条の 2 第 1 項(通知対象物)
- ◇化学物質排出把握管理促進法 第一種指定化学物質

16 その他の情報

◇参考資料等

- ・GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
(2012 年 6 月 一般社団法人 日本化学工業協会)
- ・GHS 対応一化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度
(平成 24 年 10 月 経済産業省、厚生労働省)
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)ホームページ
- ・混合物分類判定システム(経済産業省)
- ・職場のあんぜんサイト(厚生労働省)
- ・JIS Z 7253:2012「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」

製造会社の問い合わせ先

- ◇会社名 : 日鉄鋼板株式会社
- ◇住 所 : 東京都中央区日本橋本町 1-5-6 第10中央ビル
- ◇担当部門 : 営業総括部
- ◇電話番号 : 03-6848-3700
- ◇FAX.番号 : 03-6848-3797
- ◇緊急連絡先 : 同上

本データシートは日本工業規格 Z 7253:2012「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」(以下「JIS」という)に準じて作成されており、用語の定義は、JIS に従っています。

本データシートは、製品の安全な取り扱いを確保するための「参考資料」として、作成時点で入手可能又は、弊社の有する情報を取り扱い事業者にご提供するものです。取り扱い事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。

以上

作成日 2008年 1月 9日
改訂日 2017年12月13日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ロイヤル(ダイアボンド CK448A))
会社名	株式会社メタル建材
住所	千葉県船橋市西浦1-1-1
担当部門	営業部
担当名	
電話番号	047-433-9651
緊急連絡先	FAX番号 047-433-9665 電話番号

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性: 引火性の高い液体および蒸気

GHS分類:	引火性液体	
物理化学的危険性:	区分2	
健康に対する有害性:		有害性情報:
急性毒性(経口)	区分5	飲み込むと有害のおそれ
急性毒性(経皮)	区分外	—
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	—
急性毒性(吸入:蒸気)	区分4	吸入すると有害
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない	—
皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A-2B	強い眼刺激
呼吸器感受性	分類できない	—
皮膚感受性	区分外	—
生殖細胞変異原性	区分外	—
発がん性	区分外	—
生殖毒性	区分1A	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1	臓器の障害
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1	長期または反復暴露による臓器の障害
吸引性呼吸器有害性	区分外	—
環境に対する有害性		
水生環境急性有害性	区分2	水生生物に毒性
水生環境慢性有害性	区分外	—
ラベル要素		
絵表示又はシンボル:		



注意喚起語: 危険

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:	混合物		
化学名:	クロフレンゴム 系接着剤		
成分	CAS番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	含有量 (%)
クロフレンゴム等	登録有り	登録有り	23±1.5
ロジン	8050-09-7	(7)-934	(1)含む
2,6-ジメチル-4-クレゾール	128-37-0	(3)-540;(9)-1805	(0.5)含む
酸化亜鉛	1314-13-2	(1)-561	(0.5)含む
トルエン	108-88-3	(3)-2	45~55
ノルマルヘキサン	110-54-3	(2)-6	10~20
飽和炭化水素	登録有り	登録有り	5~15

4. 応急措置

- 吸入した場合: 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、速やかに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合: 付着物を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。かゆみ・炎症等の症状がでた場合は速やかに医師の診断を受ける。
- 目に入った場合: 清浄な水で15分以上洗眼した後、眼科医の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合: 水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないようにする。
- 最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報: めまい、頭痛、吐き気を催した場合、速やかに作業を中止し、新鮮な空気を吸入する。
- 応急措置をするものの保護: 特になし
- 医師に対する特別注意事項: 有機溶剤中毒と同様な処置が必要である。

5. 火災時の措置

- 消火剤: 粉末・二酸化炭素・泡・乾燥砂
- 使ってはならない消火剤: 水
- 火災時の特定危険有害性: 溶剤蒸気濃度により爆発の危険性があるので注意する。当該製品は分子中にハロゲンを含有しているため、燃焼ガスには塩素系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際に煙を吸入しないよう注意する。
- 特定の消火方法: 水を消火に用いてはならない。適切な保護具を着用して風上から消火する。周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- 消火を行う者の保護: 耐熱性保護衣を着用するほか、不浸透性手袋・有機溶剤ガス用防毒マスク等の保護具を着用して風上から消火する。

6. 漏洩時の措置

- 人体に対する注意事項: 作業の際には、必ず不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスクを着用する。
- 環境に対する注意事項: 河川等へ排出され、環境への影響を起さないよう注意する。大量の流出には、盛り土などで囲って流出を防止する。
- 除去方法: 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて回収する。付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
- 二次災害の防止策: 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。衝撃、静電気などで火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い: 火気厳禁
- 技術的対策: 取扱い設備は、防爆型を使用する。排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。換気の良いところで取り扱う。容器はその都度密栓する。周囲で、火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。静電気対策のため、装置等は接地し、電機機器類は防爆型(安全増)を使用する。
- 注意事項: 密閉された場所における作業には、充分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業する。
- 保管
- 適切な保管条件: 直射日光を避け、容器を密閉し5~35°Cで保管する。通風を良くし、蒸気が滞留しないようにする。使用後は密栓して貯蔵する。
- その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。

8. 漏洩防止及び保護措置

- 設備対策: 蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。

	管理濃度 (2013年)	許容濃度 日本産業衛生学会(2014年)	ACGIH(2014年)
ロジン	データ無し	データ無し	データ無し
2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール	データ無し	データ無し	2 mg/m ³
酸化亜鉛	- ppm	- ppm	2 mg/m ³
トルエン	20 ppm	50(皮) ppm	20(皮) ppm
ノルマルヘキサン	40 ppm	40(皮) ppm	50(皮) ppm
飽和炭化水素	データ無し	データ無し	データ無し

保護具

呼吸器の保護具: 有機ガス用防毒マスク
手の保護具: ゴム手袋
眼の保護具: 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具: 作業衣、安全靴
適切な衛生対策: 作業中は飲食、喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态:

形状: 液体
色: 黄褐色

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点: 67~110.8℃
融点: 0℃以下
引火点: -17℃
発火点: 240℃
蒸気圧: 含有する溶剤は揮発性あり
密度: 0.86±0.02 g/cm³(20℃)
溶解性: 水: 難溶
トルエン: 溶解

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常の取扱い条件においては安定
反応性: 酸化剤との接触を避ける。
避けるべき材料: 強酸化剤、酸
危険有害な分解生成物: 燃焼によりハロゲン等の有毒ガスが発生する。

11. 有害性情報

物質名	急性毒性 経口 ラット LD50	発ガン性 IARC
ロジン	3 mg/kg	*
2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール	890 mg/kg	3
酸化亜鉛	7950 mg/kg	*
トルエン	636 mg/kg	3
ノルマルヘキサン	25000 mg/kg	*
飽和炭化水素	*	*

(注) - は分類されていないことを、* はデータなしを示す。

その他: 2. 危険有害性の要約に記載されている、危険有害性情報を参照して下さい。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性:

	LC50		
ロジン	データ無し		
2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール	5 ppm	48 hr	ヒメダカ
酸化亜鉛	20 mg/L	48 hr	ヒメダカ
トルエン	22.7 ppm	72 hr	金魚
ノルマルヘキサン	データ無し		
飽和炭化水素	データ無し		

13. 廃棄上の注意

廃棄する製品は、産業廃棄物(廃油と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に委託する。焼却する場合は、焼却設備を用いて少量ずつ焼却する。焼却時、塩素ガスが発生するので、中和処理のできる設備を使用する。乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物処理業者に委託する。焼却などにより発生した廃棄物も、廃棄物の処理・清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号: 1133(接着剤)

国連分類: クラス 3 (引火性液体 P.G 2)

国内規制: 消防法 第四類第一石油類 (非水溶性) (危険等級 II)

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。溶剤を含有しているため火気厳禁。その他、消防法・船舶安全法等の法令に定めるところに従う。

緊急時応急措置指針: 指針番号 128

15. 適用法令

労働安全衛生法: 危険物(引火性の物) 有機則: 第2種有機溶剤等
57条の2第1項(通知対象物) ロジン 2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール
酸化亜鉛 トルエン ノルマルヘキサン
施行令第18条(名称等を表示すべき有害物質)
ロジン 2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール 酸化亜鉛 トルエン
ノルマルヘキサン

消防法 : 第四類第一石油類 (非水溶性) (危険等級 II)

危険物船舶運送及び貯蔵規則: 引火性液体類

航空法 : 引火性液体

化学物質管理促進法: 第一種指定化学物質 政令番号 含有量(%)
トルエン 第300号 50
ノルマルヘキサン 第392号 13

悪臭防止法 : 施行令第1条(特定悪臭物質) トルエン

ホルムアルデヒド放散量区分: F☆☆☆☆(国土交通省大臣認定番号MFN-1665)

16. その他の情報

製造会社の問い合わせ先

製品名	ダイアボンドCK448A		
会社名	ノガフケミカル株式会社		
住所	東京都中央区日本橋小伝馬町15-15		
担当部門	品質保証部		
担当名	高橋健二		
電話番号	03-3662-8991	FAX番号	03-3666-1505
緊急連絡先	ノガフケミカル(株)川口工場	電話番号	048-265-1967
整理番号	1348		

主な引用文献 : 化学物質の危険・有害便覧 (中央労働災害防止協会)
化学物質管理促進法対象物質全データ (化学工業日報社)
14303の化学商品 (化学工業日報社)
溶剤ポケットブック (有機合成化学協会)
原材料の製品安全データシート (原材料メーカー)

- ①危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには充分注意してください。
- ②この安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取り扱いを対象としたものです。
- ③本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。
- ④ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

作成 2015年11月25日

製品情報シート

1. 製品情報等及び会社情報

製品の名称 : 架橋化発泡ポリエチレン ハイエチレンS (EFおよびBFタイプ)
会社名 : 日立化成(株) 下館事業所
住所 : 〒308-8524 茨城県筑西市五所宮1150
担当部門 : 機能材料事業本部 機能性保護フィルム開発部
電話番号 : 0296-20-2477 (担当部門)
 : 0296-28-2222 (代表)
FAX番号 : 0296-28-6014 (担当部門)
緊急連絡先電話番号 : 0296-28-2222 (代表)
整理番号 : MIJ-H0001-07

注意：本製品は成形品であり、SDS(安全データシート)の発行義務がないため、これはSDSではありません。

2. 危険有害性の要約

有害性 : 発泡剤が熱分解時に発生する N_2 、 CO 、 CO_2 等のガス成分が製品の気泡内に残存していることもあるので、密閉空間内で放置した場合には、これらのガスが滞留することもある。

危険性 : 消防法の指定可燃物である。

分類の名称(分類基準は日本方式) : 成形品であり、分類基準に該当しない。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物(ポリエチレンフォーム、シート状成形品)

成分名	含有量	CAS No.
ポリエチレン樹脂	90%以上	9002-88-4

危険有害成分 : 該当なし

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 : 通常は特に問題なし。必要に応じて皮膚を石鹸で洗い、水で洗い流す。

目に入った場合 : 普通の異物を取り除くときと同様に除き、大量の水で洗眼する。

飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合は、直ちに吐き出させる。水で口の中を良く洗浄する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 霧状の水、粉末、泡、炭酸ガス

特定の消火方法 : 周辺火災の場合、周辺の設備などに散水して冷却する。

移動可能な製品は、すみやかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺には関係者以外の立入りを禁止する。

消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

除去方法 : フォーム屑の場合、かき集めるか、ほうき等で回収し廃棄する。

作成 2015年11月25日

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 火気等の着火源を生じない様、注意する。
必要に応じて保護手袋等の保護具を着用する。
体に異状を感じたり、異状が発生した場合は、第4項の応急措置を講じた後に、必ず医師の診断を受けること。
- 保管 : 直射日光、密閉場所を避け、風通しの良い、冷暗所に保管する。

8. 暴露防止措置及び保護措置

- 許容濃度 : 設定されていない
- 保護具 : 必要に応じて保護手袋を着用する。

9. 物理及び化学的性質

外観	: 独立気泡発泡体 (シート状)		
融点	: 約100℃ (ポリエチレン樹脂)		
引火点	: 約340℃ (ポリエチレン樹脂)		
発火点	: 約350℃ (ポリエチレン樹脂)		
比重	略号	発泡倍率	比重
	EF05	5倍	約0.20
	EF10	10倍	約0.10
	EF12	12倍	約0.08
	EF15	15倍	約0.06
	EF20	20倍	約0.05
	EF25 (BF25)	25倍	約0.04
	EF30 (BF30)	30倍	約0.033
	EF40 (BF40)	40倍	約0.025

溶解度 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。
- 反応性 : 自己反応性なし
- 危険有害な分解生成物 : 熱分解 (350℃以上)、燃焼により、CO、CO₂、炭化水素ガス等の有害成分を発生することがある。

11. 有害性情報

本品に該当するデータはないが、ポリエチレン樹脂はIARCの発ガン性区分でグループ3 (ヒトに対する発ガン性について分類できない) に分類されている。

12. 環境影響情報

残留性/分解性 : データは知られていないが、鳥類、魚類等が摂取することがありうるため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

13. 廃棄上の注意

廃棄は焼却または埋め立てにより行う。焼却する時は、焼却設備を用いて大気汚染防止法等に適合した処理を施し焼却する。埋め立てる時は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って処理する。

作成 2015年11月25日

1 4. 輸送上の注意

発泡剤が熱分解時に発生する N_2 、 CO 、 CO_2 等のガス成分が製品の気泡内に残存している場合があるので、密閉車両等の使用を避ける。また、荷卸し作業は、十分な換気後に開始する。

1 5. 適用法令

消防法 : 指定可燃物 (20m³以上貯蔵、取扱う場合)
廃棄物の処理および清掃に関する法律

記載内容の問い合わせ先 : 日立化成(株) 下館事業所
機能材料事業本部 機能性保護フィルム開発部
電話番号 : 0296-20-2477 (ダイヤルイン)

ここに記載された情報は、弊社データを含め種々の技術出版物にあるデータに従ったものです。必要な安全な取扱いを決定する場合には、使用者がその責任においてこの情報の利用をお決めください。

なお、ここに記載された情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成されたものですが、法律、規則等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により改訂が行われることをご承知下さい。